

自然史 アーカイブズを ひらく



2026. 2 / 21 SAT ————— 5 / 10 SUN

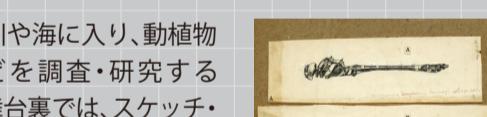


——ようこそ、舞台裏へ——



神奈川県立 生命の星・地球博物館
Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

自然史 アーカイブズを ひらく



2026. 2 / 21 SAT ————— 5 / 10 SUN

野山 山を歩き、川や海に入り、動植物

や地質などを調査・研究する
自然史科学。その舞台裏では、スケッチ・
メモ・写真などの膨大な記録資料が
生み出されました。

そこには、調査の足跡や失われた
自然の姿、博物館の収蔵標本の情報、
ときには研究者たちの情熱が眠って
います。残された記録資料を読み解いて、自然史アーカイブズへの道を
拓いてみましょう。



上: トンボの新種記載原図
下: 岩石標本の採集記録

プロローグ *prologue*

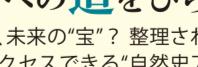
自然史科学に魅入られた人々が、日々の
探究活動の中で生み出してきた記録資料。
彼らの部屋の片隅を模したシンボル展示から、
自然史アーカイブズを巡る旅に出発しましょう。



植物採集道具

研究者の「知」をひらく

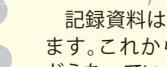
大正から平成にかけての研究者たちが
生み出した記録資料を紹介します。メモや
スケッチ、写真などを読み解いて、自然史
研究の裏側をのぞいてみましょう。



鯨類標本作製の記録



データベース



研究ノート



データベース

資料の「記憶」をひらく

博物館の古い記録資料から、常設展示

室の“あの標本”にまつわる知られざる

物語を紹介します。

アーカイブズへの道をひらく

膨大な記録の山は、未来の“宝”？ 整理された

記録資料に誰もがアクセスできる“自然史アーカイブズ”への取り組みと、デジタル技術の発展

とともに見えてきた新たな世界を紹介します。

展示紹介

企画展関連イベント

1 ミュージアム・リレー(展示解説)

〈開催日時〉2/27(金) 13:15~14:45

〈開催場所〉西側講義室・特別展示室



2 座談会 ラウンドテーブル・どうする? 自然史アーカイブズ

〈開催日時〉2/28(土) 13:00~16:20

〈開催場所〉講義室



3 記念写真&ギャラリートーク in ミューズ・フェスタ2026

〈開催日〉3/14(土)・15(日)

〈開催場所〉特別展示室



4 講座 自然史の アーカイブズをみてみよう

〈開催日時〉4/26(日) 10:00~15:30

〈開催場所〉西側講義室

5 ミニ企画 展示 フィールドノートの向こう側 —ナチュラリスト青柳昌宏の軌跡—

〈開催期間〉4/29(水)~5/23(土)

〈開催場所〉ミニ企画展示コーナー(ライブラリー前)

各イベントの詳細はウェブサイトをご覧ください。

〈開館時間〉9:00~16:30(入館は16:00まで)

〈休館日〉2/24(火)、3/ 2(月)、3/ 9(月)、3/10(火)、

3/16(月)、3/23(月)、3/30(月)、4/ 6(月)、

4/13(月)、4/14(火)、4/20(月)、4/27(月)、

4/30(木)、5/ 7(木)



<https://nh.kanagawa-museum.jp/>

〈後援〉神奈川新聞社、t v k (テレビ神奈川)、デジタルアーカイブ学会

〈協力〉東京大学総合研究博物館、大阪市立自然史博物館、川島逸郎、

佐久間大輔、内田啓子

※有料人員20人以上

常設展観覧料 企画展は入場無料です。

個人	20歳~64歳(学生除く)	20歳未満・学生	高校生・65歳以上	中学生以下
	520円	300円	100円	無料
団体(※)	410円	200円		

※有料人員20人以上

箱根登山鉄道「入生田駅」下車
徒歩3分

国道1号線「地球博物館前」
交差点をまがる

箱根湯本駅

至沼津 国道1号線

至山崎 IC 神奈川県立
生命の星・地球博物館

至小田原 道路

至静岡 東名高速道路

至東京 西湘バイパス

至川崎 IC

至横浜 深澤出入口

至新宿 小田原駅

至厚木 IC

至横浜 深澤出入口

至川崎 IC

至横浜 深澤出入口

至厚木 IC

至横浜 深澤出入口

至川崎 IC